

ガヌテル (Ganutell) の歴史

マルタ騎士団によって様々な工芸が栄えたマルタですが、その一つにししゅう糸とワイヤーを使った花があります。それがガヌテルのルーツと言われています。

ガヌテルの花は16世紀から教会の祭壇やイエス像の足元に飾られていましたが二つの大戦によりその殆どが壊され、工芸は衰退し、技術を継承したのは限られたごくわずかな人たちでした。そのため、マルタでもその存在を知る人は多くはありません。

しかし近年、マルタ共和国はガヌテルを復活させるための取り組みを始め、「ガヌテルの女神」と称えられる Maria Kerr の普及活動によりその技術はヨーロッパ各地に広がりました。そして現在、宗教的な作品をはじめ額絵、髪飾り、アクセサリーに至るまで多くの人に愛されています。

参考文献：Maria Kerr (2004) Ganutell

Maria Kerr (2021) The Maltese Art of Ganutell